



2018

8

VOL.125

市報むらかみ

Murakami

TOPICS

- ②特集 この住み慣れた地域で、暮らし続けたい
- ④むらかみの話題
- ⑧フォト特集 385年の伝統と誇りが生きる村上大祭
- ⑩8月26日(日)は村上市一斉防災訓練の目です
お知らせ版



Photo : 田んぼアート (熊登集落)

※詳しくは編集後記に

この住み慣れた地域で、

暮らし続けたい

〜地域で取り組む介護予防〜



住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けるためには、介護保険サービスや福祉サービスだけで皆さんを支えることはできません。

そのため、団塊の世代が75歳を迎える平成37年度までに、地域包括ケアシステムとして「住まい」「医療」「介護」「介護予防」「生活支援」が切れ目なく提供される体制を自治体ごとに作ることが求められています。

中でも「介護予防」「生活支援」は、市民の皆さんの主体的な参加、協力が欠かせません。今回は、町内・集落の集会所などを拠点とし、週1回程度の介護予防事業や、地域の茶の間として体操やレクリエーション活動などをを行っている2つの地域を紹介します。



高根のびんやん

「みんなかわりなかつたか〜?」「今日は何する〜?」シルバーカーを押したり、杖をついたりして、高齢者が集まって来ました。ここは高根集落「いっぶくごころ」です。集落にある空き家を住民の手で改修し、平成28年6月から週1回、「集いの場」としてオープンしました。

きっかけは、それまで地域の茶の間を月1回開催していた方の思いからでした。「子どもから高齢者まで、集落のみんなが集える場が欲しい。そこでつながりを作りたい」。その思いを若い世代が後押しして、形に

してきました。

初めは平日の日中に行っていました。子どもたちが参加できるよう、学校が休みの土曜日に変更しました。

最近では、小学生はもちろんですが、乳幼児とその保護者も参加し、交流することもあります。ある日は子どもたちが「肩たたき券」を作り、参加している高齢者に配りました。「たたいて欲しい時に手を挙げて知らせてください。たたきに行きますよ」と声をかけられた高齢者はうれしそうに「お願いします」と手を挙げます。「上手だね」「あー、とっても気持ちいい」となどの言葉が聞かれ、子どもたち



もうれしそうです。

またある日は、参加者とスタッフがハーモニカやクラリネット、ソプラノリコーダーで「ふるさと」を演奏。それを合わせてみんなで習った手話をしながら合唱します。

月に1回はみんなで昼食会も行います。「わーけしよは、バーベキューするんが、おらしたことねー」と言う参加者の声により、七輪でバーベキューを行いました。

この集いの場をこれからも継続するために、工夫しながら活動に取り組んでいます。

塩谷の茶の間

「今、塩谷に必要なのは、地域の茶の間だ」という総区長の声かけで取り組みが始まりました。

総区長は、まちづくり協議会やかみはやし互近所ささえる隊の取り組みの中で、高齢者から「俺たちにもまだできることがある」という言葉を聞いたことで、「世話



してもらおうのが当たり前と言われる年代と想っていたのでとても意外だった。それなら、力を貸してもらい、まずは地域住民が集える場を作ってみようと思った」と話してくれました。

お茶の間は、塩谷の3つの集会所を会場として、それぞれを第1・2・3水曜日に順番に回ります。また、第4・5水曜日は買い物支援を続けている「めでたや」で行っています。

世話は総区長と3人の民生委員、そして近所の協力者。



参加者ができることは本人にしようので、世話役とは言っても負担なくやれているそうです。

コーヒーやお茶を入れるのが上手な人は「お茶の間喫茶店のマスター」と呼ばれ、インスタントコーヒーをおいしく入れてくれます。これまで別の日に行っていた将棋や健康マージャン同好会も、お茶の間に合わせて行うことになり、男性の参加者も増えているそうです。

支え合いを各地域に展開

今回、紹介した高根や塩谷のような地域住民が自主的に行う高齢者の支え合いづくりや、「お互いさま」の助け合いの仕組みづくりなどさまざまな活動を、市内各地域に展開していく予定です。

あなたの地域でも取り組んでみませんか



高齢者支援室員

● 問い合わせ 介護高齢課高齢者支援室

53・2111 (内線3432)



6/23

閉校記念「あじさいまつり」

神納中学校

▶ぼんぼりで幻想的に輝くあじさい花壇



神納中学校区郷育会議が主催する「あじさいまつり」も今年で8回目。今年度で神納中学校が閉校となるため、「閉校記念」と銘打たれ開催されました。

会場には500人余りが来場し、神納中学校吹奏楽部による演奏や子どもたちによるダンスの披露、まちづくり協議会の餅まき、地区の小学生が手づくりした150個のぼんぼりでライトアップされたあじさいの観賞などを楽しみました。

6/19

郷土の豊かな海「寝屋漁港体験学習」

寝屋漁港



▶漁師さんの仕事を間近で見学



さんぽく南小学校とさんぽく北小学校の3年生と5年生が、地域産業の学習体験として寝屋漁港を訪れました。

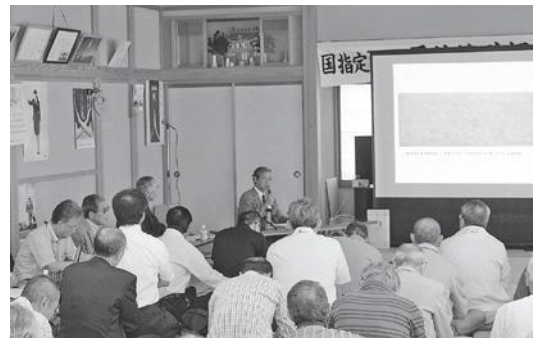
3年生はヒラメの稚魚を放流、5年生は遊覧船に乗って定置網漁を間近で見学。網が引き揚げられ、たくさんの魚が水しぶきをあげる様子を見たさんぽく北小の富樫颯真さんは「9人の漁師さんで重い網を引き上げて大変そうだけど、迫力があってすごい」と話していました。

6/17

戦国の世に思いを馳せる

平林ふれあいセンター

▶伊藤氏のユーモアあふれる講演に釘づけ



国指定史跡平林城跡保存会主催の歴史講演会が行われ、市内外から歴史ファン約70人が参加しました。

元鶴見大学文化財学科教授 伊藤正義氏が「色部氏年中行事と越後国瀬波郡絵図の世界について」と題し講演。2009年に放送されたNHK大河ドラマ「天地人」の話を織り交ぜながらのユーモラスで分かりやすい解説に、参加者は引き込まれていました。

6/20

シルクフラワー製作体験

下中島集落センター

▶色紙にコスモスを製作中



朝日地区で古くから作られているシルクフラワーの製作体験が、下中島集落の地域の茶の間で行われました。講師は朝日シルクフラワー製作工房の横井栄子さん。参加者7人は、和気あいあいとした雰囲気の中でも、真剣に作品づくりに取り組みました。

参加した笠川せい子さんは「難しいと思ったが、講師の丁寧な指導のおかげで、いい作品ができた」と喜んでいました。

作品は猿沢小学校の文化祭で、展示する予定です。

6/30~
7/1

あらかわラベンダーを楽しんでほしい
グリーンパークあらかわ総合運動公園

動画あり

▶ラベンダーの摘み取り体験



運動公園のラベンダー畑を管理する団体「風かおる丘ハーブメイツあらかわ」が、地域の皆さんにラベンダーに親しんでもらおうと開催した「あらかわラベンダーを楽しむ会」。

好天にも恵まれ、来場者はラベンダーの摘み取りをしたり、ラベンダー関連商品を購入したりして楽しんでいました。

別会場のつどい場「あら、ほっ」(旧荒島保育園)では、喫茶コーナーが設けられ、来場者は限定スイーツやハーブティーを飲んで、憩いの時間を過ごしました。

6/24

さくらんぼ祭りにぎやかに
大須戸集落

▶さくらんぼ狩りは140人が参加



昨年を上回る500人ももの来場者でにぎわった今年の大須戸さくらんぼ祭り。ステージでは音楽ライブやダンス、種飛ばし大会、屋外テントでは紙芝居などの多くの催しが行われました。

30個限定の「さくらんぼクレープ」や300パック限定のさくらんぼは、すぐに完売となる盛況ぶり。他にも焼きそば、ラーメン、牛すじ煮込みなどの模擬店、手ぶらで楽しめるBBQなど、晴天のもと、参加者は大須戸の魅力を堪能しました。

7/9

閉校後の活用アイデアはこれだ!
平林中学校

▶和気あいあいと世代を超えて語り合う



平林中学校区郷育会議が、今年度末で閉校になる中学校校舎の活用方法を考えるワークショップ「地域と子どもたちを語る会」を開催。小・中学生、高校生、地域の皆さん約60人が参加し、平林中学校の生徒が考えた4つの案を基に、実現するための課題やプロセスについて意見を出し合いました。

参加した人からは、「閉校はさみしいが、話し合いを通して、地域活性化の可能性を感じて元気が出てきた」などの声が聞かれました。

※4つの案は、平林中学校のホームページのブログに掲載しています

6/30

みんなが楽しめる学園祭
新潟リハビリテーション大学

▶笑顔でフランクフルトを販売



新潟リハビリテーション大学の学園祭「新リ八祭」も今回で22回目。

屋外の特設ステージでは、軽音サークルの演奏やダンスサークルのダンス披露、模擬店では冷やしパインや牛丼などの販売、型抜きやくじ引きなどの縁日が行われました。

大学校舎内では、骨密度測定やバランス測定、ストレスチェックなど心と体の健康体験や、大型スクリーンでのゲーム大会などが行われるなど、子どもから高齢者まで楽しめる学園祭となりました。

税の公平性を保つために 滞納処分をしています

税の公平性を保つために

税金は医療や教育の充実、安全や秩序の維持など、わたしたちの暮らしを豊かにするための大切な財源です。忘れずに、納期限までに納税してください。多くの人が納期限を守って納税しています。期限内に納税した人との公平性を保つために、滞納を放置することはできません。市では、法律に基づき滞納処分（差し押さえ）を行っています。

税の滞納Q&A

Q 税金を滞納しているのですが、他の借金があつて納税が難しいです。

A さまざまな事情があるでしょうが、ほとんどの人は納期限までに納税しています。また、「税金はすべての債務に優先する」と地方税法第14条で定められています。つまり、個人債務（借金）より税金が優先されるのです。

Q 事前連絡や承諾なしに財産が差し押さえられました。

このようなことが許されるのですか？

A 法律では、納期限が過ぎた後、督促状を発送して10日を経過した日までに完納されない場合は、財産の差し押さえをしなければならぬことになっています。この場合、本人に対して、事前に連絡や同意は必要ありません。しかし、あくまでも自主的に納税することが原則ですので、督促状などで早期の納税をお願いしています。それでも納税されない場合、税の公平性を保つために、財産の差し押さえを行います。

◎差し押さえの流れ

納期限を過ぎても納税されない場合

地方税法の規定により、納期限経過後20日以内に督促状を送付します。納期限の翌日から延滞金が計算されます。

督促・催告

督促状を送付しても納税がない場合は、催告書の送付や訪問による催告を行う場合があります。

財産調査

督促状や催告書を送付しても納税がない場合は、滞納者の財産を確認するために、官公署・金融機関・勤務先・取引先などに対して調査を行います。これらの調査や搜索は、滞納者から事前に了承を得ずに行うことができます。

差し押さえ・公売・換価

差し押さえ後も納税がない場合は、差し押さえた財産を滞納者の意志にかかわらず、公売などにより換価し、滞納市税に充てます。

税 充 当

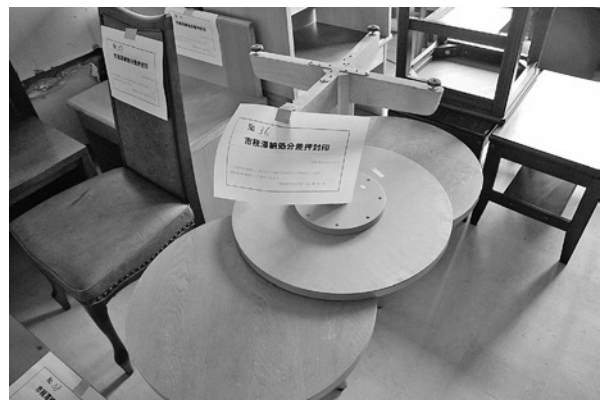
差し押さえ実績（平成29年度）	
項目	件数
預貯金	124
生命保険	63
給与など	14
国（県）税還付金	30
出資金	69
賃借料	2
不動産	18
動産	1
合計	321

◆差し押さえ件数

平成29年度は、321件の差し押さえを行いました。
今後とも滞納処分により、滞納の縮減を図っていきます。

●問い合わせ

税務課収納対策室 ☎53・33361
※やむを得ない理由で納期限までに納税が困難な場合はご連絡ください



子育て支援情報

手当の支給・医療費の助成をしています

児童扶養手当

父母の離婚などにより、父または母と生計を別に行っている児童の健やかな成長と家庭の生計安定、自立促進のために支給される手当です。

◆支給対象者

- 次のいずれかに該当する児童（18歳に達する日以後の最初の3月31日まで）の間の児童、障がいがある児童は20歳未満）を養育している父または母や、父または母に代わって養育している人。
- ① 父母が離婚した児童
 - ② 父または母が死亡した児童
 - ③ 父または母に一定の障がいがある児童
 - ④ 父または母の生死が明らかでない児童
 - ⑤ 父または母から引き続き1年以上遺棄されている児童
 - ⑥ 父または母が裁判所からのDV保護命令を受けた児童
 - ⑦ 父または母が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
 - ⑧ 母が婚姻によらないで出産した児童
 - ⑨ 棄児などで出生の事情が明らかでない児童

い児童

※該当しても、障害年金や遺族年金などの公的年金を受ける場合や、児童福祉施設などに入所している場合などは、手当を受給できないことがあります。また、本人または同居の扶養義務者に一定以上の所得がある場合は、手当の一部または全額の支給が停止されます

児童扶養手当支給月額	
対象児童数	手当額
1人	42,500円 ～ 10,030円
2人	52,540円 ～ 15,050円
3人以上	児童1人増すごとに 6,020円～ 3,010円 を加算した額

※平成30年4月1日現在の支給額

特別児童扶養手当

身体または精神に一定の障がいがある児童を養育している人に、児童の福祉の増進を図る目的で支給される手当です。

◆支給対象者

身体または精神に一定の障がいのある20歳未満の児童を養育している父母または父母に代わってその児童を養育している人

※該当していても、児童が障がいを理由に公的年金を受ける場合や、児童福祉施設などに入所している場合などは、手当を受給できません。また、本人または同居の扶養義務者に一定以上の所得がある場合は、手当の支給が停止されます

◆支給月額（児童1人につき）

- 1級 5万1700円
- 2級 3万4430円

※平成30年4月1日現在の支給額

ひとり親家庭等の医療費助成

ひとり親家庭などの生活の安定と自立を支援するため、ひとり親家庭などの父や母、児童（18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間の児童、障がいのある児童は20歳未満）などの医療費の一部が助成されます。

◆助成対象者

- ① 母子家庭、父子家庭の母または父およびその家庭の児童
- ② 父または母に一定の障がいがある家庭の児童およびその父または母
- ③ 父母が死亡または①、②に該当する

児童で、父母に養育されない児童とその児童を養育する人
※所得制限などにより、対象にならない場合があります

現況届・所得状況届・更新申請書の提出はお早めに

8月は「児童扶養手当現況届」「特別児童扶養手当所得状況届」を提出する月です。提出をしないと、資格があっても8月以降の手当が受けられなくなります。ひとり親家庭等の医療費助成を受けている人は、「更新申請書」を提出してください。

次のとおり、現況届・更新申請の受付時間を午後7時まで延長します。
(特別児童扶養手当は除きます)

- 【本庁】
8月2日(休)・7日(火)・9日(木)・14日(火)
- 【支所】
9日(木)、23日(木)



福祉課子育て支援室の千野主事

●問い合わせ 福祉課(☎53・2111)
「児童扶養手当・ひとり親家庭等の医療費助成」↓子育て支援室(内線2552、2553)
「特別児童扶養手当」↓福祉政策室(内線2522)

重要無形民俗文化財指定

385年の伝統と誇りが生きる

村上大祭



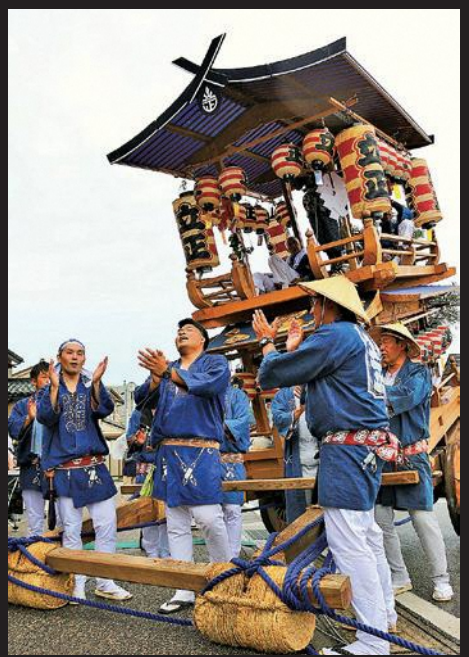
今年3月に国の重要無形民俗文化財に指定されてから、初の村上大祭が7月6日（宵祭り）と7日（本祭り）に開催されました。

村上大祭は、江戸時代から村上城下で行われてきた祭礼行事で、西奈彌羽黒神社の例大祭です。

本祭り当日、時折降る雨の中、彫刻や漆塗り、金箔が施された勇壮で絢爛豪華なおしゃぎり屋台19台が、市内を練り歩きました。

沿道に詰めかけた多くの観光客や市民らが、きらびやかな時代絵巻に大きな拍手を送っていました。





8月26日(日)は 村上市一斉防災訓練の日です

●問い合わせ 総務課 危機管理室
☎53-2111 (内線3140)

防災行政無線・緊急速報メールの時間と内容

7:50 事前告知【放送】

8:00 緊急地震速報【放送】

↓ 自分の身を守る行動

8:03 大津波警報

高い場所への避難

※大津波警報解除の放送は行いません

地震・津波を
想定した訓練

8:20 避難準備・高齢者等避難開始【放送・メール】

↓ 要配慮者は避難開始、その他の人は避難の準備

8:40 避難勧告【放送・メール】

↓ 避難開始

9:00 避難指示(緊急)【放送・メール】

↓

9:20 避難指示解除【放送・メール】

風水害を想定した訓練

※緊急速報メールは、NTTドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話に配信されます

市では、8月26日(日)の一斉防災訓練時に、地震・津波発生時の放送に加え、近年増加している風水害に伴う「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示(緊急)」を防災行政無線や緊急速報メールで告知します。

この放送により、自主防災組織や町内・集落を中心に、訓練内容を計画し、地元消防団などと協力しながら、その地域に合った訓練を実施する「市民の皆さんによる防災訓練」を行うものです。

いざというとき、被害を最小限に防ぐためには、普段から災害に対する心構えと、家庭や地域での

防災対策を怠らないようにすることが大切です。

放送内容は、左表のとおりで、地震・津波を想定した避難訓練を行う場合は午前8時、風水害を想定した避難訓練を行う場合は午前8時20分の放送にあわせて訓練を開始してください。

○主な訓練内容

- ・情報収集・伝達訓練
- ・初期消火訓練
- ・避難訓練
- ・給食・給水訓練
- ・水防訓練(土のう積み訓練)

※各町内・集落によって訓練内容が異なります

新潟県・村上市・粟島浦村『総合防災訓練』を実施します

新潟県では、村上市および粟島浦村と共同で総合防災訓練を実施します。この訓練は、山形県沖を震源としたマグニチュード8.0の地震が発生し、大津波警報が発表されたことを想定して行うものです。防災関係機関相互の緊密な連携体制を作り、併せて住民の皆さんの防災意識の向上と、住民の皆さんと防災関係機関との連携や協力体制の強化を図ることを目的に、関係機関約80団体が参加して盛大に行われます。詳しくは、8月15日号の市報でお知らせいたします。

また、県では、新聞、ラジオ、テレビおよびホームページでお知らせします。

- とき 8月26日(日) 午前8時～正午 ※小雨決行
- ところ 村上市会場(岩船港緑地公園、岩船中学校)
- 内容 住民避難訓練、避難所などの開設・運営訓練、災害対策本部訓練、災害支援訓練、漂流者などの救助訓練、火災・消火訓練、各種防災資機材展示、体験訓練など



生涯自分の歯でしっかりかんで食べられるように

●問い合わせ 保健医療課健康支援室
☎53-2111 (内線2440 ~ 2443)

市の歯科保健計画では、胎生期から老年期、介護・障がいまで6つのライフステージに分け、スローガンや個人・関係機関・行政の取り組みなどを設定しています。

介護・障がい者においては「お口の健康に関心を持つ」というスローガンに在宅歯科医療連携室などと連携し、口腔保健の向上を目指しています。

歯・口腔の健康は、介護予防につながり、生活の質（QOL）を向上させます。要介護者などは、自分の口の異常に気づきにくいいため、周囲の人が早め気づき、正しい口腔ケア（※）を行うことが大切です。

そのためにも、在宅歯科医療連携室に相談してみてください。

※口腔ケアとは

お口の中を清掃し、清潔に保つだけでなく、食べる・話す・豊かな表情などの口の機能を維持・向上するための予防や治療のことをいいます



こんにちは 在宅歯科医療連携室です

介護が必要で歯科医院への通院が困難な高齢者などを対象に、在宅歯科医療の申し込みや、歯や歯ぐきの痛み、入れ歯などの相談に応じます。



- 内容
 - ・訪問口腔ケア
 - ・歯科無料相談
 - ・口腔ケアに関する研修会
 - ・訪問歯科医療のご案内など

○受付・相談
月・火・水・金曜日 ※祝日は除く
午前9時～正午、午後3時～5時

●問い合わせ
村上市岩船郡在宅歯科医療連携室
(飯野3丁目10番11号)
(☎・FAX)62-7747)

歯科健診で早期発見を

村上市岩船郡歯科医師会

会長 中野 久士

世界で最も患者が多いのは歯周病、むし歯といった歯科疾患です。

歯周病は自覚症状が少なく、「沈黙の病気」と表現される通り気づいた時には、かなり進行していることが多く早期発見が難しい病気です。最近メデアなどで、歯周病と全身の病気（糖尿病、心疾患、誤嚥性肺炎、リュウマチ、認知症、早産・低体重児出産など）の関係が周知されています。

また、むし歯に関しては、幼少期、青少年期において新潟県は有病率が低く全国一優れています。が、食生活の変化などでよくかむという行為が減り、口の中の筋肉の低下と顎の発育障害により不正なかみ合わせが多く診られます。不正なかみ合わせは体や脳の発育

に影響を及ぼすことがあります。これらの予防と治療のためにも、種々の歯科健診を積極的に活用することによって、早期発見・早期治療がとも重要です。

また訪問口腔ケア・訪問歯科診療の依頼・お口の悩み事などがありましたら当地区の歯科医療連携室に相談してみてください。女性スタッフが電話での相談のほか、訪問相談にも応じます。普段何気なく使っている口ですが、よくかめない、歯がしみる、歯ぐきから血や膿が出る、口臭がある、口が乾く、顎が痛いなどの症状はありませんか。

当歯科医師会は、住民の皆様の頼れる歯科医でありたいと願っております。

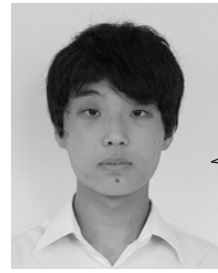
全国大会に出場する 高校生を紹介します

現在開催中の全国高等学校総合体育大会（インターハイ）などの全国大会に、当市から15人の高校生が出場します。県を代表して出場する選手たちの応援をお願いします。



初の全国大会ですが、入賞目指して気負うことなく、冷静に競技してきます。

織田 英訓さん
(村上高等学校3年生)
出場種目：陸上競技（八種競技）
出身中学校：中条中学校



高校生活最後の全国大会なので、最後まで妥協せず、ベストを尽くして頑張ります。

山崎 大志さん
(村上高等学校3年生)
出場種目：ライフル射撃エア・ライフル
出身中学校：中条中学校



練習での成果を十分出せるように、体調を管理し、本番に臨みます。

安藤 彰斗さん
(村上高等学校1年生)
出場種目：少林寺拳法
出身中学校：村上東中学校



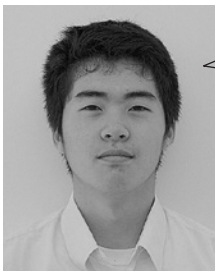
1秒でも長く畳の上で立っていられるように稽古を積みたと思います。

富樫 侃太さん
(荒川高等学校2年生)
出場種目：柔道
出身中学校：中条中学校



2度目の全国大会ですが、気負わず自分の力を出し切りたいです。少しでも良い結果が出せるようにしっかりと準備をして臨みたい。

ロイ アボンさん
(荒川高等学校2年生)
出場種目：柔道
出身中学校：中条中学校



メンバーの一員として頑張りたいです。

齋藤 啓介さん
(荒川高等学校2年生)
出場種目：バドミントン
出身中学校：乙中学校



昨年より良い成績を残せるようにし、チームの足を引っ張らないように、自分が出せる実力を精一杯発揮します。

佐藤 唯子さん
(荒川高等学校2年生)
出場種目：バドミントン
出身中学校：朝日中学校



全国大会の舞台でチームの足を引っ張らないようにしたい。多くの選手の技術を吸収したい。

大滝 真美子さん
(荒川高等学校2年生)
出場種目：バドミントン
出身中学校：朝日中学校



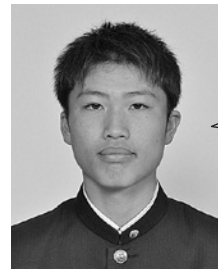
北信越地区代表として魂を入れて精一杯戦ってきたい。全国大会で活躍をして東西対抗戦に選ばれ、花園ラグビー場で試合をしたいです。

磯部 蒼さん
(中条高等学校3年生)
出場種目：ラグビーフットボール
出身中学校：神納中学校



個人、団体ともに新潟県の代表選手としての自覚を持って、しっかり戦ってきます。

富樫 拓海さん
(新潟明訓高等学校3年生)
出場種目：剣道
出身中学校：村上第一中学校



新潟県の代表として、チーム一丸となってベストを尽くし、一つでも多く勝ち進めるよう頑張ります。

高橋 慎さん
(新潟明訓高等学校3年生)
出場種目：男子サッカー
出身中学校：朝日中学校

■その他、榎本 翔太さん（荒川高等学校3年生：黒川中学校出身）と和田 翔さん（荒川高等学校3年生：朝日中学校出身）がソフトテニスで、山上 遥香さん（西新発田高等学校3年生：村上東中学校出身）が少林寺拳法で、相馬 迅（開志国際高等学校3年生：本丸中学校出身）がバスケットボールで出場します。

※当市に住所を有する人、在学する人を対象に県内高校に照会しました

●問い合わせ 生涯学習課スポーツ推進室 ☎53-2446



地域包括支援センターだより
みんなでやろう 笑顔で楽しく!!

『むらかみ体操』 — 村上市介護予防体操 —

いつまでも笑顔で元気に暮らしていけることを目的に、市では「むらかみ体操」のDVDを作製しました。このDVDでは、地域の病院や施設、大学に所属しているリハビリ専門職の方々が考案した「むらかみ体操」を、各地区のスポーツクラブの方が実演しています。

曲は村上に馴染みのある「汽車」で、編曲は日下哲平さん、演奏は日下直子さんです。



皆さんの集まる地域の転倒予防教室や地域の茶の間などで、ご活用ください。

今年度は各町内で実施している転倒予防教室に、DVDを配布する予定ですが、配布を希望する団体（地域の茶の間など）は、ご連絡ください。（各町内1枚、枚数限定の先着順です）



●問い合わせ 介護高齢課地域包括支援センター ☎53-2111（内線3432）
または各支所地域振興課地域福祉室

4月に高根集落に地域おこし協力隊として着任した高橋洋です。趣味はトライアスロンです。
活動内容は、市で導入を進めている林間ワサビの栽培を始めとして「山の資源」を活かした継続的な事業の創出です。容易なことではありませんがコツコツ取り組みます。
私は地域おこし協力隊として活動していますが、「地域おこし」という言葉に少々違和感を覚えています。東京の人に比べて高根の人は明らかに元気だからです。東京で会社を辞めて田舎への移住を決め



今回は、高橋洋隊員からのレポートを紹介します。

言葉では表現できない魅力がある高根集落



▲林間ワサビの出荷準備をする高橋隊員

たとき、周囲からは大変つらやましがられました。都会で生きていくことに限界を感じている人は大勢いるのだから、つくづく思います。
これから私のように田舎への移住をする都会の人が、増えるのではないかと思います。高根には美しい風景、おいしい食事、温かい人柄、言葉では表現できない魅力があります。私がこの地で元気に楽しく暮らすことが「地域おこし」につながるのではないかと考えています。

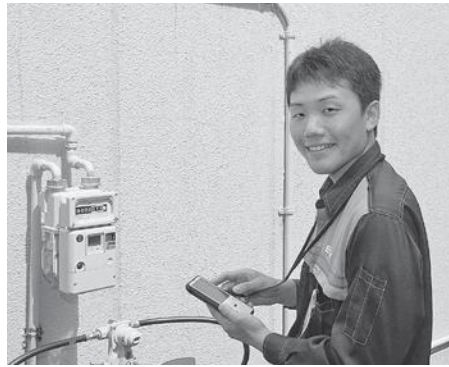
シリーズ
地域おこし協力隊通信 16
●問い合わせ 自治振興課自治振興室
☎53・2111（内線3310）

村上市の仕事人

★シリーズ

輝く！若者ワーカー⑤

●問い合わせ 政策推進課企画政策室
☎53・2111（内線5112）



鈴木 隆太さん（黒田・25歳）
趣味：登山

やっぱり地元で働きたい

新潟の専門学校を卒業後、横浜市内のIT企業に就職。地元に戻って働きたいと、トライアル（試行）雇用を経て、(株)宮作に勤務しています。働き始めて9月で丸2年経過します。

雰囲気も良く、なごやかに働ける環境がとてもいいです。

地元を離れて家族や友だちの大切さを改めて感じました。まわりに頼りになる人がいることは、とても心強いです。

業務内容

LPガスの検針やガスポンベの取り

協力企業



株式会社 宮作（片町4-12）
卸小売業
従業員 40人 ☎53-3184

取材から

たご焼きが大好きだという鈴木さんは、とてもまじめな好青年。只今、彼女募集中です。

登山が好き

休日は、仲間と登山をしています。鷲ヶ巣山の頂上から町を見下ろす景色は最高ですね。

強いのでおすすめですよ。市民の皆さん、LPガスは災害時に付け、修理などを先輩と共に担当しています。ガス器具の知識を高め、自分一人で器具の取り付けや修理ができるように頑張っていきます。

図書館ひろば

村上市立中央図書館 ☎53-7511

◆中央図書館8月の休館日◆

月曜日 6日、13日、20日、27日

第2金曜日（館内整理日）10日

※中央図書館の開館時間

火曜～金曜 午前9時から午後7時まで

土・日・祝日 午前9時から午後5時まで

【中央図書館新着図書】

- ◆ 怪しくて妖しくて（阿刀田高）
- ◆ くらげホテル（尾崎英子）
- ◆ 人間に向いてない（黒澤いづみ）
- ◆ 絶望キャラメル（島田雅彦）
- ◆ おいぼれハムレット（橋本治）
- ◆ ライトマイファイア（伊東潤）
- ◆ ポストカプセル（折原一）
- ◆ 空港時光（温又柔）
- ◆ 官邸襲撃（高嶋哲夫）
- ◆ 消えていく日に（加藤千恵）
- ◆ 宵物語（西尾維新）
- ◆ さしすせその女たち（榎月美智子）
- ◆ 鬼火 フランス人ふたり組の日本妖怪紀行（アトリエ・セントー）
- ◆ 仕事の悩み問題解決（生方正也）
- ◆ トトロの生まれたところ（宮崎駿／監修）
- ◆ 歳を取るのも悪くない（養老孟司ほか）
- ◆ カルピスを作った男 三島海雲（山川徹）
- 世界モンスターMAP（スチュアート・ヒル）
- 読書感想文書き方ドリル2018（大竹裕）
- そうべえときじむな（たじまゆきひこ）
- おしっこちょっぴりもれたろう（ヨシタケシンスケ）
- あのねあのね（えがしらみちこ）
- ミジンコでございます。（山村浩二）

◆…一般書 ○…児童書

おたんじょう

氏名(ふりがな)	届出人	町内会名または住所
村上地区		
律 斗(りつと)	堀田 俊雄	上町
結 菜(ゆいな)	和田 隆史	瀬波上町
泰 知(たいち)	大関 裕也	飯野西
快 成(かいせい)	鈴木 伸也	肴町
大 悟(だいご)	川内 悟	鋳物師
碧 晴(あおは)	沢井 賢吾	大月
糸 絵(しえ)	中村 剛之	塩町
瑞 己(みずき)	佐藤 信之	二之町
瑠 花(るか)	伴田 涉	岩船岸見寺町
彩 音(あやね)	永井 克明	三之町
樹 (いつき)	小田浩太郎	南町二丁目

氏名(ふりがな)	届出人	町内会名または住所
荒川地区		
あやみ	室本 隼人	坂町駅前
泰 知(たいち)	長野 慶彦	荒島
奏 乃(このの)	横井 厚	坂町
葵 (あおい)	小島 優	山口
ま れ	井口 将希	荒島
神林地区		
瑛 太(えいた)	川崎 祐也	北新保
朝日地区		
朱 優(しゅう)	小柳 翔太	朝日中野
凛 (りん)	相馬 庸平	高根

おくやみ

氏名	年齢	町内会名または住所
村上地区		
川村キミエ	86	下山田
石井 久三	75	飯野一丁目
稲葉 謙次	89	久保多町
若林 久徳	89	二之町
松岡 正明	75	塩町
渡邊眞由美	63	岩船上町
瀬賀 正雄	90	堀片
齋藤 ハナ	85	八日市
山下ミキイ	95	上の山
石河 ミイ	82	松原町二丁目
佐藤 スギ	95	大関
吉川 雄次	73	泉町
高橋 順一	64	日下
鈴木利津子	70	杉原
伊藤キノエ	93	三面
齋藤 ハル	92	羽黒町
阿部 イチ	96	滝の前
成田 時	96	久保多町
杉浦 耕悦	70	仲間町
小池 隆	17	飯野西
齋藤 キミ	100	松原町一丁目
菅原 ミコ	82	学校町
鈴木八五男	80	岩船下浜町
小池 マキ	82	緑町四丁目
菅原 明子	79	野瀉
大滝 清二	88	田端町
小田 トイ	81	肴町

氏名	年齢	町内会名または住所
太田 葉子	92	早川
井東 浩行	57	山居町一丁目
荒川地区		
中川ナツ子	79	坂町
小林 幸子	57	坂町
高橋 哲夫	94	名割
鈴木 信一	88	長政
富樫 英明	61	切田
室本 寅夫	82	荒屋
古田 清	92	金屋
高橋 ミヨ	100	佐々木
磯部 悦子	90	坂町
神林地区		
寺澤 百合	98	七湊
南間イクヨ	98	松沢
田中カツヨ	78	宿田
石田 誠	63	牛屋
松村 ヤチ	81	山田
岸 俊一	82	長松
小池ミヨコ	74	葛籠山
朝日地区		
横井 恵子	80	下新保
鈴木 善藏	95	猿沢
長谷部 潔	80	小川
志田 キミ	89	大須戸

氏名	年齢	町内会名または住所
小田 廣	65	下新保
横山 サツ	92	関口
木村 正夫	84	中原
遠山 喜樹	93	高根
熊倉 三枝	96	下新保
牛腸 長司	88	朝日中野
高橋 英子	90	猿沢
青山 秀雄	71	岩崩
高橋 一士	83	千縄
中山 甚一	71	大須戸
山北地区		
齋藤 タミ	93	越沢
佐藤 光人	65	中津原
富樫 ハツ	85	朴平
齋藤 保夫	86	越沢
平方 クニ	97	岩石
渡辺喜久次	79	脇川
齋藤ハツイ	91	下大鳥
小林仁一郎	84	中津原
菅原ナ子	89	塔下
齋藤 榮	70	勝木
富樫 久彌	89	寝屋
加藤三千雄	76	大毎

※6月11日から7月10日までの届け出です(敬称略)※保護者やご遺族などの了承を得て掲載しています

人口と世帯数(7月1日現在)
()内は前月比

人口  29,079人(△38)

 31,647人(△55)

計60,726人(△93)



22,853世帯(△13)



若林 楓花ちゃん
H27.12.17 (緑町五丁目)



山賀 聖愛くん
H27.12.25 (切田)



福山 桜介くん 雪乃 雛ちゃん
H26.6.1 H29.1.10
(岩沢)



大越 玲嬢くん
H29.10.22 (南町一丁目)

生まれ！むらかみ元気スマイル

わが子の笑顔を皆さんに届けてみませんか。小学校入学前までのお子さんの写真を募集します。(市内在住者に限りません)

- ①住所
 - ②お子さんの名前(ふりがな)
 - ③生年月日④保護者氏名
 - ⑤電話番号⑥写真(5MB以内)
- をメールで送付してください。
メール：seisaku-k@city.murakami.lg.jp

QRコードで
アドレス読み取り



むらかみの話題 ワンモアショット!

7/10

あらかわの農業と地産地消を考える 保内小学校

▶熱心に聞き入る児童たち



総合学習で「地産地消」や「農業の現状」について、市職員から講義を受けた保内小学校5年生。

児童たちは、米の収穫時に出たわらを牛に与え、牛のふんを肥料にする耕畜連携に感心していました。

地場産の良さに引かれた児童が、「今度、市場や直売所に行ってみよう」と意見を発表したことが、とても印象に残りました。



細川君 渡辺君

キャリアスタートウイーク

この記事は、荒川支所へ職場体験にきた荒川中学校2年生の細川龍之介君(記事担当)と渡辺豹牙君(写真担当)が担当しました。

今月の 市民キッズモデル

今回の紙面を和ませくれたのは、
みのり保育園に通うこの2人!

はるきくん

- 好物 チョコレート
- 夢 りょうし



あおのちゃん

- 好物 メロン
- 夢 かんごしさん

編集後記

▶5月に田植えを行った表紙写真の「田んぼアート」が、お盆ごろまで見ごろをわかえています。見学台も設置してありますので、ぜひお越しください。この「田んぼアート」は鶴岡地域まちづくり協議会が主催となり、熊登集落の水田をキャンパスに見立て、古代米などの色の異なる稲を使って巨大なひまわりなどの絵を描き出したものです。秋には稲刈りイベントも計画しているそうですのでお楽しみに。(斎藤)

むらかみ情報ねっと・子育てメールマガジン

メールで情報をキャッチ!

http://www.city.murakami.lg.jp/
mobile/mailmaga/
右のQRコードを読み取る
だけで簡単アクセス



編集・発行 ●本紙掲載記事の無断転載を禁じます。
村上市政推進課
〒958-8501 新潟県村上三之町1番1号
☎0254(53)2111内線5113 FAX0254(53)3810

ホームページアドレス http://www.city.murakami.lg.jp
メールアドレス seisaku-k@city.murakami.lg.jp
印刷 村上印刷株式会社